

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

I 拠点ゾーンの整備コンセプトについて

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
整備計画に賛成 (3)		<ul style="list-style-type: none"> ・整備コンセプト、施設の計画概要について、概ね了承する。(1) ・整備コンセプトに基本的に賛同する。往時をしのび、現在の生活空間とは異なった空間に身を置き、五感を通して実感できる特別な場所を創造してほしい。(1) ・整備コンセプトは、非常に好感が持てる。子どもを連れて遊ぶにもくつろげる場所だと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備コンセプトにある「往時の平城宮・平城京の姿を知り、奈良時代を今に感じる」空間を実現するために、効果的な手法を検討するとともに、来訪者が楽しみながら快適に過ごせる施設整備に努めます。
早期の施設整備 (4)		<ul style="list-style-type: none"> ・早期に整備着手、開園してほしい。(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画では、平成28年度中の完成を目標に、早期の整備着手を目指しています。
多様な来訪者に応じた整備が必要 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客にとっては、平城宮跡のスケールや歴史が感じられるように、地域住民にとっては、散歩やジョギング、カフェ利用など身近に公園を楽しめるように整備を行ってほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンの施設は、観光客にとっては「往時の平城宮・平城京の姿を知り、奈良時代を今に感じる」空間を実現するとともに、地域住民の日常的なレクリエーション利用も対象としています。
拠点ゾーンの整備に反対 (2)	史跡保存の観点 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地下遺構の確実な保存を前提とするなら、施設計画は中止すべきである。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンは、平城宮跡全体のガイダンスや出土品、資料展示を行う施設、公園の利用案内サービスの提供や管理運営の拠点となる施設、観光ネットワークの拠点となる施設等を集約的に設けるゾーンであり、広く国民に公園を利用させていただくにあたり必要な施設として整備を行うものです。これらの施設の整備にあたっては、たとえば保護盛土を行うなど、地下遺構の確実な保存を前提とします。
	観光誘致の観点 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系や環境に悪影響を与えるものを作るのは許せない。また、観光産業は更なる浪費を加速する身勝手な行為であり、観光客を呼ぶことを目的とした開発など論外である。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回整備の対象となる朱雀大路西側地区は、現在工場が位置している場所であり、工場撤去後に整備を行うもので、生態系等への悪影響は少ないものと考えます。また、朱雀大路東側地区は、既存の市営都市公園を国営公園として再整備するもので、建物周辺では植栽等を行い、良好な環境の保全に努めます。 ・なお、公園整備は観光客だけを対象としたものではなく、歴史体験などを目的とした学習旅行者、日常的なレクリエーションの場としての活用を目的とした地域住民も対象としています。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

I 拠点ゾーンの整備コンセプトについて

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
往時の体感の内容が不十分 (2)		<ul style="list-style-type: none"> 整備コンセプトでは、県民に還元性があるということが描ききれていない。復原建物はシンボリックなものであるが、観光客や県民が歴史・文化を学ぶには十分なものとは言えないのではないか。(1) 歴史的な根拠が明確でないのに、「往時の空間を体感させる」というのは、人の想像力を奪うのではないか。本当に当時の物を体感したいならば、とことん学んで考えるしかないと思う。知識のない人が根拠のない物を見せられたら、歴史を誤って理解してしまうのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 整備コンセプトにある「奈良時代を今に感じる」を実現するため、朱雀門などの復原建物や遺構表示を活用するなどの方法により、来訪者の理解が深まるような取り組み（歴史解説や歴史講座など利用者プログラムの充実）について、ご意見を参考に、今後検討を行います。物を見せるだけでなく、復原の根拠となる発掘調査・研究の成果と併せてご理解いただけるように努めます。
平城京のスケール感 (1)		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画(案)の概要版では、「往時の平城京のスケールを感じさせる空間づくり」に関する具体的な記述がない。平城宮だけでなく、平城京全体を体験・体感できる施設にしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点ゾーンは、「平城京」と平城京内の中枢である「平城宮」が接する場所に位置しています。このことから、条坊道路(奈良時代の道路)の見通しを確保する等の方法により、平城京のかたち(都市計画)が感じられる空間づくりを目指しています。 ご意見を踏まえ、整備計画の整備コンセプト①具体的な配慮事項に『効果的な遺構表示や案内の充実に努め』と追記します。
朱雀大路東側地区の空間形成 (1)		<ul style="list-style-type: none"> 朱雀大路東側地区について、閉鎖的な空間にならないような整備コンセプトが必要ではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 朱雀大路東側地区と西側地区は、一体的な活用を行い、拠点ゾーン全体として「にぎわい」のある空間づくりを目指しています。 ご意見を踏まえ、整備計画の整備コンセプト②具体的な配慮事項に『朱雀大路を中心に拠点ゾーンの一体的な活用を行い、エリア全体として「にぎわい」の創出に努めます』と追記します。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

I 拠点ゾーンの整備コンセプトについて

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
にぎわいの醸成 (3)		<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいを醸成するには、朱雀大路に人があふれる仕組みが必要と考えるが、どのようなコンセプトで考えているか。(1) ・建物の夜間ライトアップ、飲食施設や広場の夜間開放など、にぎわいを創出する取り組みをしてほしい。(1) ・奈良への宿泊客誘致の点からも、観光客が少ない時期に夜間の催しなど色々と検討してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朱雀門前の朱雀大路では、歌垣などの行事や儀式が行われていたということを踏まえ、様々な催しなどを行い、人々が集う空間となるような取り組みを行います。 ・また、平城宮跡では、第一次大極殿や朱雀門の夜間ライトアップが行われているところですが、平城宮跡の夜間の景観をより多くの方に楽しんでいただけるように、飲食施設等の夜間運営などを含め、ご意見を参考に、今後検討を行います。にぎわいを創出する取り組みとしては、県内の他の施設とも連携を図るなど、奈良への宿泊客誘致にも貢献していきたいと考えています。
歴史性への配慮 (3)	条坊道路の表示 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・坊間小路は、あまり意味がないと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・条坊道路(奈良時代の道路)は、メインストリートである朱雀大路や二条大路だけでなく、条間小路や坊間小路の見通しも確保することで、往時の街区(一坪)が感じられる空間とします。
	奈良時代以前の表示 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代を経て今の空間があるので、古墳を削って都を造営したことや、都であった期間は短かったことなども含め、周辺の古墳群を含んだ歴史空間を観光客にも感じられるようにしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朱雀大路では、奈良盆地を南北に貫通している平城京造営前の古代の道路である「下ツ道」の遺構表示を行います。 ・また、古墳群など周辺の歴史空間との関わりについては、拠点ゾーン施設で紹介を行うなどにより、来訪者の方々に理解を深めていただく取り組みを今後検討します。来訪者が平城宮跡をきっかけに奈良をより深く知ることができ、何度訪れても新しい発見がある場所を目指します。
	建物の復元性 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備予定の建物について、リサイクル可能な構造とすれば、往時の建物が遷都のたびに解体・再利用されたことと同じであり、ユネスコの復元性という指摘にかなうのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造は、今後検討を行っていく予定ですが、現代に整備する施設として、耐震性等を備えた公共建築物として、信頼性や環境負荷の軽減などについても配慮しながら整備を行います。 ・なお、拠点ゾーンは世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産のコアゾーン外であり、平城宮跡歴史公園の来訪者の利便性、快適性を満たすよう、利用サービス施設等を整備します。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

I 拠点ゾーンの整備コンセプトについて

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
復原遣唐使船 (1)	展示の意義 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・復原遣唐使船を平城宮跡歴史公園内に展示する意味を多くの人々が理解・納得できるようにしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・復原遣唐使船は、奈良時代における東アジアとの交流を知るきっかけとして、平城宮跡歴史公園内で展示を計画しています。日本の国づくりの歴史、大陸や半島との交流などについて理解を深めていただく施設として展示を行います。
防災拠点施設機能の追加 (2)		<ul style="list-style-type: none"> ・平常時は観光施設として有効活用される一方で、災害時には国・県の防災拠点としての機能を持たせてはどうか。整備予定の建物が災害拠点基地、防災倉庫、避難場所、救助者の収容場所として機能するように、設備を整えることが望ましい。そうすることで、県民の関心が非常に高まるのではないか。観光立県と防災立県をコンセプトにアピールできないか。(1) ・災害時には避難場所等に活用できる場所として、支障のない範囲で設備を配置してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡は、奈良市地域防災計画において「広域避難地」に位置付けられています。また、平城宮跡歴史公園基本計画においても、公園に導入すべき機能として「大規模地震等非常災害時の避難場所として必要な整備を行う」としています。 ・奈良市とも連携を図りながら、平城宮跡歴史公園全体として必要な機能を検討のうえ、拠点ゾーンにおいても、ご意見を参考に、帰宅困難な来訪者など、災害時の避難場所として対応が可能となるよう、引き続き検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅱ 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
施設全般 (2)	施設規模の考え方 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設規模は、どの程度の来訪者を想定して計画しているのか。(1) ・現在は、来訪者が前年度に比べて減少傾向にあると思うが、拠点ゾーンの導入時点では、どのような企画を持ち、集客を見込んでいるのか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンの施設は、平城宮跡歴史公園の開園後の年間来訪者をおよそ120万人と想定し、必要な規模を設定します。 ・平城宮跡歴史公園全体として、魅力的な公園整備に努めます。また、拠点ゾーン開園後の朱雀大路東側地区と西側地区は、一体的な活用を行い、拠点ゾーン全体として「にぎわい」のある空間づくりを目指しています。具体的な活用方法については、今後検討を行います。
平城宮跡展示館 (6)	展示内容の検討・運用方法 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館の展示内容の検討や運用にあたっては、奈良文化財研究所や文化庁の既存施設と連携協力を行ってほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館の具体的な展示内容の検討や施設の運用については、奈良文化財研究所、文化庁など関係機関と今後も連携を行います。
	発掘遺構・遺物に関する展示 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館では、現地で発掘した遺構の展示を行い、後世の人にも分かる場所にしてほしい。(1) ・朱雀大路東側地区では、鍛鉄加工が行われた遺構や井戸などの遺物が出土しているが、それらの展示を行うのか。展示に活かしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のように、朱雀大路東側地区は、奈良時代の「平城京左京三条一坊一坪・二坪」という場所にあたります。埋蔵文化財発掘調査の結果、一坪では、平城京造営時の鑄造遺構や八角形の井戸などが確認されています。平城宮跡展示館では、これらの現地で確認された発掘調査の成果も併せて、展示内容について引き続き検討を行います。
	施設の有料化 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館は、他の国営公園のように有料化すればどうか。有料にする場合は、大極殿や東院庭園等も共通券とするなど同時に有料化してはどうか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館の運営については、これまでの取り組みを踏まえ、ご意見を参考に、今後検討を行います。
	表示言語等の取り扱い (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館での説明やキャプションは、英文併記とし、それ以外の外国語は印刷物で表示してはどうか。また、小学生や高齢者に配慮して、文字を大きくしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館での表示言語は、日本語・英語を基本とし、それ以外の言語については、今後、来訪者の需要も踏まえながら、印刷物や音声ガイド、携帯情報端末などでの対応を検討します。 ・また、ユニバーサルデザインの点から、表示内容が容易に読み取れるような文字の大きさ、明るさ、色合いとします。
	市民に開放されたスペースの整備 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館には、常設展示室の他に、会議室や特別展示室などのスペースを設け、広く市民に開放する施設としてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館には、常設展示室の他、企画展示室など広く市民に使っていただけるスペースを計画します。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅱ 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
交通ターミナル (33)	自家用車の駐車場が必要 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の駐車場を整備することが必要である。(12) ・自家用車の駐車場がないと、公園周辺への違法駐車が懸念される。(5) ・バスの乗降は高齢者には負担であり、自家用車の駐車場も必要である。(1) ・駐車場対策については、「観光」という視点から十分に検討を行ってほしい。(1) ・拠点ゾーンに施設が整備されると、さらに自家用車の駐車場は必要になると思う。現在のエントランス広場駐車場の一部を観光バス・自家用車の駐車場として残してはどうか。臨時駐車場であり、元に戻す予定になっていると思うが、平城宮跡を国民に親しんでもらうためには自家用車の駐車場は必要であり、遺跡に影響を及ぼさないように配慮し、緑地ゾーンとして樹木の中の駐車場という感じにすれば理解が得られるのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県では、奈良中心市街地の車両流入抑制の一環として、公共交通機関による来訪の促進など流入車両への対策に取り組んでいるところです。例えば、近鉄奈良駅やJR奈良駅と奈良公園、平城宮跡などの観光拠点を結ぶ周遊バス「ぐるっとバス」の運行を行い、アクセス向上にも努めているところです。 ・しかしながら、今回多くのご意見をいただき、高齢者など様々な利用者に配慮するという点から、交通ターミナルでの自家用車の駐車スペースを設けます。なお、台数は、通常時(春・秋の観光シーズンを除く)の利用を想定します。 ・ご意見を踏まえ、整備計画の施設の計画概要②交通ターミナルに、『公共交通機関での来訪を促進し』と追記するほか、『団体で来訪される方の観光バスや公共交通機関の利用が困難な方に配慮した一定の自家用車の駐車場を設けます』と記載し、併せて、平面図とイメージ図を修正します。 ・今回、交通ターミナルに自家用車の駐車場を設けますが、可能な限り、緑化や修景に努めるなど、歴史公園にふさわしい駐車場とします。 ・なお、春・秋の観光シーズンやイベント時などの多客期については、市内周辺駐車場施設などを活用したパークアンドバスライドによる対応を行います。 ・また、現在のエントランス広場駐車場については、仮設であり、拠点ゾーンの交通ターミナルが整備された後に撤去する計画です。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅱ 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
交通ターミナル (33)	観光バス駐車場 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光バス駐車場は、最低30台必要である。(1) ・観光バスは、拠点ゾーンでは乗降のみを行い、駐車は別の場所にしてはどうか。乗車案内システムなどを採用すれば、可能ではないか。(1) ・観光バスの待機場所は、平城宮跡外の離れた空き地を活用してはどうか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光バスの駐車場は、平城宮跡歴史公園の開園後の年間来訪者をおよそ120万人と想定し、団体客の割合を推計の上、必要台数を設けることとしています。 ・また、ご意見を頂いたバス待機場所については、周辺地域を含めた広域的な運用について、奈良市とも調整の上、確保していくことが必要であると考えます。 ・また、観光バス駐車場の運営において、必要に応じて予約制の導入により駐車台数の調整を行うなどの方法について、今後検討を行います。
	車いす使用者等用駐車施設 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光バス駐車場と車いす使用者等用駐車施設を同一箇所に設けて安全な運営ができるのか。安全を確保するために、余計に警備員等が必要になるのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者等用駐車施設は、観光バス駐車場・自家用車用駐車場と離れた場所で、施設の寄りつき等に配慮し、利用者の安全確保に努めて整備します。 ・ご意見を踏まえ、整備計画の施設の計画概要②交通ターミナルに、『飲食・交流施設の寄り付き部分に車いす使用者等用駐車施設を確保します』と追記します。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

II 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
交通ターミナル (33)	バスの乗降場所 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗降する人は建物内で待機し、バスの接近が正確に案内されるのであれば、敷地深くにバスを進入させずに、動線が最小限ですむのではないかと。(1) ・路線バスのバス停を交通ターミナルに引き入れて、直接施設にアプローチできるようにするなど、利用者が雨や日光をしのぐことができるような工夫をしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンでは、来訪者の活動動線を考慮し、到着時のバス降車場所を朱雀門・朱雀大路により近い場所とし、施設利用後の帰路動線にバス乗車場所を計画しています。また、交通ターミナル内での円滑な交通処理という点も含めて、車両動線を計画しています。 ・また、雨天時や日射が強い日にも、来訪者に快適に交通ターミナルをご利用いただけるよう、屋根（シェルター）を設ける計画です。 ・奈良県では、奈良中心市街地の車両流入抑制の一環として、公共交通機関による来訪の促進など流入車両への対策に取り組んでいるところです。例えば、近鉄奈良駅やJR奈良駅と奈良公園、平城宮跡などの観光拠点を結ぶ周遊バス「ぐるっとバス」の運行を行い、アクセス向上にも努めているところです。 ・交通ターミナルは、これらの周遊バスの乗降利用を想定しているところですが、現在大宮通り沿いにあるバス停については、路線バス利用者の利便性も勘案の上、ご意見を参考に、事業者等と今後協議を行います。
	タクシー乗り場 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー乗り場には、タクシー会社の連絡先を記載した案内看板を設置してほしい。また、公衆電話を近くに設置してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ターミナルには、タクシーバース（乗降場）を設ける計画です。 ・ご意見を頂いた、案内看板や公衆電話などの必要な設備については、来訪者の利便性に配慮し、関係機関等と調整しながら、今後検討を行います。
	歩行者の動線 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩・宮跡展望施設から観光案内・物販施設に直接移動できるように歩道を作らないと、歩行者が危険だと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の移動動線を適切に誘導します。 ・なお、朱雀大路西側地区の施設配置は、来訪者の動線を考慮し、各施設間を屋根（シェルター）で結び、雨や日射を避けながら、安全に移動していただけるよう計画しています。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

II 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
交通ターミナル (33)	大宮通り進入部 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮通りから拠点ゾーンへの車の出入計画は、東行き交通だけでなく、東西方向から自動車の流れを設けることが重要である。西行きの車が拠点ゾーンに入れるようにするには、拠点ゾーンの敷地の一部を道路として使用し、西行きの車の右折待避線を設ければ可能ではないか。現在の計画では、西行きの車は三条通りを大回りしなければならず、余計な道路や交差点を走らせることになり、渋滞を招くのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡周辺の道路状況から、自動車による交通ターミナルへは、大阪方面からは大宮通り(県道1号)、また国道24号からは三条通り(国道308号)を經由して大宮通りを利用していただく計画です。 ・交通ターミナルから大阪方面へは、ご意見のとおり、大宮通り(県道1号)を東に出て、三条通り(国道308号)を經由することになりますが、関係機関と調整を図りながら、円滑な交通の確保を図っていきます。
	駐車場の有料化 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーン内に設ける駐車場は有料とし、拠点ゾーン以外は無料とするなど、価格差をつけるとよいのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡歴史公園は、奈良中心市街地の渋滞対策の点からも公共交通機関の利用を推奨しています。この点も踏まえ、駐車場の有料化については、今後検討を行います。 ・また、一方で、高齢者や車いす等使用者など自家用車での来訪に限られる場合もあることから、有料化に伴い、来訪が困難になることがないように、配慮事項についても併せて検討を行います。
	舗装方法 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡内に大きな駐車場があることが気になっていたもので、平城宮跡外の拠点ゾーンに整備されるのは良いことだと思う。ただし、平城宮跡外だからと言って、コンクリートで舗装されるのはどうか。奈良時代にコンクリートで固められたところはないはずである。イメージ図を見ると、灰色の舗装面積が相当あるが、石畳以外に灰色の道は当時なかったもので、地球色のカラー舗装をしてほしい。朱雀門前広場から直接は見えないが、整備の思想に関わることだと思う。(1) ・交通ターミナルは、舗装面積も広いので、地下埋蔵物へのダメージや温暖化対策、多雨時の排水処理の点からも、透水性舗装の方が効果的で良いと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ターミナルは、公園への来訪者に必要な施設として、特別史跡の区域外に整備を行う計画です。交通ターミナルとしての必要な機能や、施設整備後の維持管理の点も踏まえ、透水性舗装・緑化舗装など舗装材を含む整備方法について、ご意見を参考に、今後検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅱ 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
交通ターミナル (33)	駐車場の緑化 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場や周辺バス停には、大きな影をつくる街路樹を自然樹形で育ててはどうか。例えば、雑木林の中の駐車場という感じにすれば、内陸部の温度上昇、ヒートアイランド現象の防止の点からも効果的だと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ターミナル内の駐車場は、安全性の点からも一定の見通しを確保する必要がありますが、機能や施設の維持管理の点も踏まえつつ、可能な限り、緑化や修景に努めるなど、歴史公園にふさわしい駐車場とします。具体的な緑化方法（芝生等による緑化、中低木の植栽など）等については、ご意見を参考に今後検討を行います。
団体集合施設 (2)	施設内容 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体集合施設を3階建てにして、上の階にレストランを入れて、夜間ライトアップされた宮跡内の復原建物の眺望を楽しめるようにしてはどうか。(1) ・ 団体集合施設は、建物の中を畳敷きにして、折りたたみができる座卓が備えてあれば、利用の自由度が高く使いやすいそう。ホワイトボードもあった方がよい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点ゾーンでは、復原建物を主役としてこれを引き立てるため、朱雀門及び朱雀大路から最も近くに位置する団体集合施設は、建物の高さを低く抑えることとしています。 ・ また、団体集合施設は、風致地区内に位置し、10mの高さ制限があることから、高層（3階建て）にすることは困難です。 ・ また、団体集合施設の内装等については、団体で来訪された方の集合施設として、また雨天時の活動施設としての機能を確保しつつ、運用面・維持管理面も考慮の上、多くの来訪者の方に快適に利用していただけるように、ご意見を参考に今後検討を行います。
飲食・交流施設 観光案内・物販施設 (4)	配置計画 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食・交流施設から、夕食客が夜間ライトアップされた復原建物を眺望できれば良いと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間の利用も含めて、ご意見を参考に、今後検討を行います。なお、飲食・交流施設では、オープンカフェなど朱雀門への眺望を確保する計画です。
	バス待合所機能の充実 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食・交流施設や観光案内・物販施設は、どちらも休憩所とバス待合所を兼ねたものであれば利用しやすいと思う。具体的には、バス時刻表、見やすい時計、バスの発着を示す電光掲示板等があればよい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平城宮跡歴史公園は、奈良中心市街地の渋滞対策の点から、公共交通機関の利用を推奨しています。この点からも、鉄道駅と公園を結ぶバス利用者の方が快適に施設を利用し、円滑に移動していただけるように、必要となる設備等について、ご意見を参考に、今後検討を行います。
	運営手法 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食・物販施設は、クオリティの高い店舗となるように選定してほしい。良い店を呼び込めるようなコンペ条件としてほしい。(1) ・ 飲食・物販施設では、奈良の名物（奈良県産の果物、大和茶、吉野葛を使ったデザートや飲み物、飛鳥鍋、のっぺ汁、柿の葉寿司など）をメニューにしてはどうか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食・物販施設の運営事業者の選定等については、平城宮跡歴史公園の正面玄関に位置する施設として、「平城宮跡らしさ」「奈良らしさ」を持った特色のある施設となるよう、選定方法を含め、ご意見を参考に、今後検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

II 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
休憩・宮跡展望施設 (6)	施設内容 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡内（朱雀門、朝堂院、大極殿院）を展望できるような屋上デッキを設置してほしい。若草山や平城山などの稜線を見渡すことができ、奈良時代の広大な景観が感じられると思う。(1) ・ジョギング・サイクリング拠点については、とても良いと思う。平城宮跡はジョギングに適しており、サイクリングについても県内の周遊の拠点になると思う。(1) ・更衣室、ロッカー、冷水器、サロン、畳のスペースなどがあれば良いと思う。熱中症対策の飲み物等も販売してはどうか。(1) ・単なる休憩場所ではなく、レストラン方式で夜間ライトアップされた宮跡内が展望できる場所にしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩・宮跡展望施設は、宮跡に近接しているという立地から、休憩・宮跡展望スペースや園内周遊をはじめ様々な活動の拠点として利用する計画ですが、その立地条件を最大限に活用できるように、必要な設備・施設について、今後検討を行います。
	現平城京歴史館の改修 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・現平城京歴史館は、撤去すればよいのではないかと。(1) ・新しい機能が必要であれば、他の施設に機能を持たせればよく、なぜ平城京歴史館を改修するのか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の建物を有効活用し、宮跡内に最も近く眺望が優れている施設として活用を図るため、現平城京歴史館は改修を行う計画です。 ・現平城京歴史館の展示機能については、公園ガイダンス機能とともに、朱雀大路東側地区の学習拠点施設等に集約を行うことを基本とし、また、より効果的な場所での展示を行います。
その他の機能 (21)	自転車等利用環境の充実 (15)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車やバイクの駐輪場（バイクスタンド・バイクラックを含む）、水の補給所（ウォータークーラー）、空気入れなどの設備を整えてほしい。(14) ・自転車の種類によって、スペースを分けてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の駐輪場は、飲食・交流施設周辺、休憩・宮跡展望施設周辺などに整備を行います。 ・自動二輪車の駐輪場は、自家用車の駐車場周辺に整備を行います。 ・ご意見を踏まえ、整備計画の施設概要②交通ターミナルに「バイク駐輪場」を追記します。また、その他として『③休憩・宮跡展望施設や⑥飲食・交流施設の施設周辺に、自転車駐輪場を設けます』と追記します。 ・また、駐輪施設の具体的な整備内容（屋根・スタンド・ラック等）については、ご意見を参考に、今後検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅱ 拠点ゾーンの施設の計画概要について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
その他の機能 (21)	貸自転車 (レンタサイクル) 機能の追加 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンに貸自転車 (レンタサイクル) の貸出所をつくってほしい。(3) ・平城宮跡内の施設を回れるように、休憩・宮跡展望施設を自転車の貸出拠点にできないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡歴史公園内及び周辺施設への観光周遊に有効な貸自転車 (レンタサイクル) の機能の導入については、安全かつ快適に公園内を移動していただけるように、ご意見を参考に今後検討を行います。
	ボランティア控室 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドを有効に活用することは時代の要請であり、有意義な措置でもある。そのためにも、施設内にボランティア控室などを準備することが必要である。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も平城宮跡では、解説ボランティアガイド等が活躍されているところですが、公園の開園後も多様な主体のボランティア参画を受け入れ、管理運営の充実を図っていく必要があると考えています。控室等の設置についても、ご意見を参考に、今後検討を行います。
	予備スペースの整備 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンに、講演会や会議スペース、イベントを行う際の準備室などの場所を設けておく必要があるのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡展示館では、宮跡全体の案内や出土品・資料展示などを行うスペースのほか、講演会や会議が行えるスペースについても、ご意見を参考に、今後検討を行います。 ・その他、バックヤードとしても利用できるスペースや各施設の運営に必要となるスペースなどについては、各施設内で確保できるよう、ご意見を参考に、今後検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

Ⅲ 拠点ゾーンの景観形成の考え方について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
建物の形状 (6)	復原建物との調和が必要 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の屋根は、平城宮跡外から遠望した時に、復原建物と連続した景観の方が良いと思うので、平城宮跡の建物と同系の瓦葺きに変更することはできないか。(1) ・建物の屋根形状や葺き方を復原建物に合わせれば、全体的に統一した景観ができると思う。(1) ・建物外観は、なるべく平城宮跡の建物と調和のとれたものとしてほしい。朱塗りが派手すぎるようであれば、内裏などの建物に合わせて、素木が古くなったような風合いを取り入れるなどしてほしい。金属屋根はそぐわないように思う。(1) ・建物の屋根の色は、灰色では遠目に瓦と変わりがなく、見た目にも差別化できないので、素材は金属板葺きであっても、色を当時の「木製板葺き」のイメージに近い黄土色・ベージュとしてはどうか。(1) ・建物の屋根の色は、銅版葺き風の青銅色にすれば、平城宮跡の雰囲気になじむと思う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンに整備する施設は、平城宮跡での発掘調査・研究の成果に基づく復原建物や遺構表示を主役とし、これらを引き立てるため差別化を図り、また平城宮内の主要な建物や平城京内の寺院以外では、基本的に瓦葺きの建物はなかったという点から、金属板葺きの屋根を計画しています。 ・施設の屋根は、素材（金属）や形状（切り妻造り）で差別化し、色合い（瓦と同系色の落ち着いた色調）等で調和を図る計画です。
	高さの抑制 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡の魅力は、「広い空間を一気に見渡せること」であり、そのため建物の高さを可能な限り低く抑えてほしい。当時の朱雀門前には2階建ての建物などなかったと思うので、極力高さを抑えて「平べったい空間」を創出してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンの一部は、風致地区内に位置しており、建物の高さは10mまでに制限されているところです。 ・拠点ゾーンに整備を行う建物は、全て高さを10m以下に抑え、広がりのある空間づくりを目指しています。
植栽 (1)	整備方法 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡の植栽は、奈良時代のように自然樹形を基本とすべきである。生垣などの特別な場所以外では、樹冠まで伸ばすことを前提としてはどうか。イメージ図では、人工的な剪定方法を前提としているように見える。樹木は大きく育て、大きな影をつくることが重要である。落葉樹を主体に木陰をつくり、冬は陽が差すようにすればよいのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ゾーンの植栽は、万葉植物など季節が感じられるものとして、緑地景観を形成し、また周辺の環境との緩衝空間となる植栽も行う計画です。 ・植栽には、修景や景観保全のほか、園内から園外への遮蔽、園外から園内への緩衝など色々な機能が求められます。拠点ゾーンのそれぞれの場所における必要な機能に応じて、落葉樹・常緑樹など適切な樹種等を選定します。また、樹木の生長等の時間経過による変化を見越した整備を行うとともに、剪定方法などの維持管理手法については、整備後の適切な管理を通じて植栽効果が高まるような配慮を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

IV 拠点ゾーンのその他のご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
朱雀大路の整備方法 (3)	街路樹の復元 (1)	・朱雀大路には、側溝をはさんで街路樹を2列に復元するのが良いと思う。現在の街路樹は大きく育っているが、新たに整備するものは小さくても、大きく育てていけばよい。朱雀大路の側溝と2列の街路樹の復元により、当時の姿に近づくとと思う。(1)	・朱雀大路には、奈良時代の街路景観をイメージさせる街路樹を大路の両側に植栽整備する計画です。
	排水機能の充実 (1)	・現在の朱雀大路は、雨が降るとぬかるみになるので、排水設備をしっかりとしてほしい。(1)	・朱雀大路については、現在の仮設駐車場への進入路を撤去後に、拡幅する部分を含めて再整備を行います。具体的な整備手法については、雨天時にも来訪者が円滑に移動できるように、ご意見を参考に、今後検討を行います。
	自転車道の整備 (1)	・朱雀大路が今回の整備対象になるようだが、一部を自転車道にしてほしい。(1)	・史跡として整備を行う朱雀大路内に自転車道を設けることは難しいところです。 ・なお、大宮通りと宮跡内を結ぶ自転車用通路を拠点ゾーンの西側に別途計画しています。 ・ご意見を踏まえ、整備計画の施設の計画概要に、その他として『大宮通りから③休憩・宮跡展望施設への自転車用通路を設けます』と追記します。
夏の暑さ対策 (4)	植栽・施設整備 (4)	・直射日光を遮るものが何もないので、芝生や高木の並木を植え、日陰をつくったり、照り返しを軽減するような対策をしてほしい。(1) ・木陰をなるべく多くするか、施設間を屋根でつなぐなどの直射日光対策をとってほしい。(1) ・夏場対策として、ミストが出る装置や日陰の休憩スペースを整備してほしい。(2)	・植栽による木陰や芝生などの緑地を設けるとともに、朱雀大路西側地区では、来訪者の方が雨や日射を避けながら、安全に移動していただけるように、施設間を屋根(シェルター)でつなぐ計画としています。 ・その他の暑さ対策について、休憩所周辺でのミストの設置や水飲み場の確保など、より安全に楽しんでいただけるよう、具体的な設備についてご意見を参考に、今後検討を行います。
トイレ (2)	施設の充実 (2)	・団体客が来ても不足することのないように、トイレを充実させてほしい。(2)	・バス降車場所の近くにある団体集合施設に、団体客にも対応できる数のトイレを整備する計画です。また、各施設にもトイレを整備する予定です。
施設整備の手法 (4)	発掘調査の実施 (1)	・建物が平城宮跡外に整備されることに安心しましたが、発掘調査を十分に行った上で整備してください。(1)	・施設の整備にあたっては、地下遺構の確実な保存を前提としており、着手する前に必要に応じて発掘調査を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

IV 拠点ゾーンのその他のご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
施設整備の手法 (4)	環境負荷の軽減 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 拠点ゾーンに整備する施設は、冷暖房負荷が少ない構造とし、建物の屋根にソーラーパネルを設けたり、地面からの照り返しで熱がこもらないように複層ガラス等を使用してはどうか。(3) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の少ない建築物とするため、環境負荷及びライフサイクルコスト等の低減に寄与できるような整備手法について、ご意見を参考に、今後検討を行います。
池の整備 (1)	地下水への影響 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 大池(朱雀大路東側地区)や復原遣唐使船の人口池(朱雀大路西側地区)について、水質や水量の確保は地下水と何か関係するか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 朱雀大路東側地区の大池は、地下水を汲み上げていますが、現在よりも規模を縮小するもので、新たに地下水に影響を与えることはないと考えています。また、朱雀大路西側地区の復原遣唐使船の人工池(水深の浅い池)は、新たに整備するものですが、地下水は使用しません。
近鉄線の移設 (2)	移設を考慮した計画 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の近鉄線の移設による人の流れを考慮した施設設計にしてほしい。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の基本計画では、平城宮跡内を横断する近鉄線については、遺構の復原、景観の保全、来訪者の安全確保の視点から、移設することが位置付けられていますが、拠点ゾーンの整備期間である平成28年度までに実現することは困難と考えています。このため、現計画では近鉄線移設後の鉄道駅からのアクセスを考慮したものはなっていません。 拠点ゾーンの整備計画では、大宮通り側を入口として計画していますが、近鉄線の移設に関わらず、鉄道駅からのアクセス向上には今後とも努めていきたいと考えています。 なお、近鉄線の移設については、奈良県を中心に、実現に向けて、現在検討を進めているところです。
拠点ゾーンの展示・運営手法 (2)	体験・体感できる展示の充実 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史が好きな人以外でも楽しめるように、ただ展示を見るだけでなく、奈良時代にあった物に触れたり、当時行われていたことを体験できるような施設にしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者が主体的に参加できる体験・体感型の展示やイベントの実施について、ご意見を参考に、今後検討を行います。単に、視覚的な要素だけでなく、五感に訴え、様々な観点から楽しめ、何度も来訪したくなるような公園づくりに努めます。 なお、「歴史体験学習館(仮称)」は、平城宮跡展示館の南側に、将来、奈良県が整備を行う予定です。
	県出身の著名人との連携 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県出身の著名人と連携すれば、より多くの方が訪れるのではないかと。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設展開については、様々な手法でより多くの方に来訪していただけるよう工夫をしていきたいと考えています。
案内誘導の充実 (1)	携帯情報端末の活用 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 携帯情報端末で展示案内やバス乗車の案内サービスをしてはどうか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯情報端末を用いた情報案内を含め、様々な来訪者が快適に施設利用いただける手法について、ご意見を参考に、今後検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

IV 拠点ゾーンのその他のご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
棚田嘉十郎像の設置場所 (1)		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画(案)においても、平城宮跡の保存活動について功績を記載されているが、棚田嘉十郎像をどのようにするのか。銅像は来訪者がよく目にする場所に設置すべきで、歴史的な事実・学習材料として来訪者に提供してはどうか。説明板だけよりも銅像があった方が、より周知できるのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 棚田嘉十郎氏をはじめ、地元有志による平城宮跡の保存活動については、平城宮跡展示館においても展示解説などを行う計画です。 棚田嘉十郎像については、ご意見を参考に、関係機関と調整の上、設置場所について、今後検討を行います。
パブリックコメント (1)	意見募集の方法 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 意見募集をしても検討する意志がないのではないかと。本気で人の意見を聞きたいなら、もっと積極的な宣伝をするのではないかと。一度でも意見をされた人には、通知をするべきではないかと。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の意見募集にあたっては、報道発表を行い、ホームページや「ならしみんだより」などでの告知を行いました。また、概要版のチラシを作成し、関係機関窓口、県政情報センター、県民お役立ち情報コーナー、平城宮跡内の各施設などで配布を行い、広く周知に努めております。
有識者等懇談会の実施方法 (1)	委員の選定分野 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 有識者は、事業を進めるのに都合の良い人ばかりを集めているのではないかと。微生物や土壌生物、気象、認知論、脳科学など科学関連の専門家がいらないのは論外といえる。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 有識者等懇談会は、整備計画(案)を作成するにあたり、平城宮跡の正面玄関としてふさわしい景観形成について、幅広い見地からご意見を伺い、参考とするために開催しました。 有識者は、拠点ゾーンを整備するという特質から、「歴史」「造園」「建築」「観光」「地域振興」の各分野の専門家の方にご協力をいただきました。 また、整備計画(案)について、今回パブリックコメント(意見募集)を行い、広くご意見をいただいているところです。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

V 公園全体に関するご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
公園基本計画 (3)	現在のゾーニングに反対 (1)	・歴史的根拠のないゾーン設定には反対である。(1)	・平城宮跡歴史公園のゾーン設定は、平成20年度に策定された「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域基本計画」において、歴史資産、景観、アクセス、現況利用・地域ニーズの4点の状況を踏まえて、計画されています。
	新たなバッファゾーンの設定 (1)	・羅城門から北側の西ノ京・薬師寺・唐招提寺までのエリアを新たなバッファゾーンとして設定してはどうか。(1)	・平城宮跡と関わりのある地域については、世界遺産「古都奈良の文化財」のバッファゾーンに含まれない地域についても、来訪者への解説案内等を行うなどの取り組みについて、今後検討を行います。
	バランスのとれた公園整備 (1)	・平城宮跡は、今回のように他地域からの来訪者にも目を向けた「整備区域」と「整備を行わない現状のままの区域」の両面で検討を行ってほしい。(1)	・平城宮跡歴史公園は、公園区域を4つのゾーンに分け、ゾーンごとに果たすべき役割や導入すべき機能を設定しています。今回整備を行う「拠点ゾーン」は、施設を集約的に設ける区域ですが、例えば「緑地ゾーン」は草地や湿地等の環境を活かした整備を行うなど、バランスのとれた公園整備を行います。
公園に求める機能 (13)	園路の木陰 (1)	・大和西大寺駅から平城宮跡展示館までの徒歩コースは、並木道にして木陰をつくり、歩行者を熱中症から守ってほしい。広い敷地を散策するのに、熱中症になりにくい、自然を感じられる憩いの空間をつくってほしい。(1)	・大和西大寺駅から拠点ゾーンへのアクセスルートについて、公園内では来訪者が熱中症にならないような方法を、関係機関と協議の上、引き続き検討を行います。 ・また、奈良県では、奈良中心市街地の車両流入抑制の一環として、公共交通機関による来訪の促進など流入車両への対策に取り組んでいるところです。例えば、近鉄奈良駅やJR奈良駅と奈良公園、平城宮跡などの観光拠点を結ぶ周遊バス「ぐるっとバス」の運行を行い、アクセス向上にも努めているところです。
	植栽整備の充実 (1)	・広大な敷地の中で、日陰ゾーンや花木ゾーンを設置し、見学や憩いの場をつくってほしい。樹木は、地下遺構に配慮を行う必要がある。(1)	・平城宮跡での植栽整備については、ご意見も参考に、引き続き検討を行います。
	休憩所の増設 (3)	・宮跡内に日陰のある休憩所や自動販売機を増やしてほしい。(3)	・平城宮跡歴史公園での休憩所等の整備については、ご意見も参考に、引き続き検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

V 公園全体に関するご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
公園に求める機能 (13)	サイクリングコースの整備 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な平城宮跡を自転車で見学できるように、自転車道を整備してほしい。(7) ・現在ある道について、自転車が走りやすいように拡幅してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩・自転車利用の両者の安全性や快適性を確保できるような園路整備について、ご意見も参考に、引き続き検討を行います。
自然環境の保全 (3)	整備に反対 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・朱雀門北側の宮跡内には、舗装や建物を整備せず、自然のまま残してほしい。平城宮跡はいつまでも市民の憩いの場としてほしい。(1) ・地下には遺跡があり、水の流れも変わるので現状の自然のままにしておいてほしい。緑地帯ではツバメのねぐらもなくなります。(1) ・平城宮跡の自然が残る広い原っぱはとても貴重で、色々な建物を整備してしまうことはとても残念です。人工的に整備された平城宮跡には魅力を感じない。最小限の工事にとどめてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の施設整備は、特別史跡外に行うもので、朱雀大路西側地区については、現在ある工場の撤去後に公園整備を行うものです。また、朱雀大路東側地区は、既存の市営都市公園を国営公園として再整備するもので、建物周辺では植栽等を行い、良好な環境の保全に努めます。 ・また、平成20年度に策定された「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域基本計画」において、平城宮跡歴史公園では4つのゾーンを設定しており、例えば緑地ゾーンでは散策や草花観賞、自然観察など草地や湿地等の環境を活かした多様なレクリエーションを行うゾーンとし、現況の緑地環境を活かしたエリアとする計画です。
植栽の管理 (2)	適切な管理 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の手入れをいつもきちんとしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の管理等については、安全面や自然環境にも配慮の上、今後とも適切な管理に努めます。
	緑のリサイクル (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡は広く、自然の循環を考慮し、小枝をチップ状にしたり、集めた落葉から肥料を作るなどの作業スペースを設けてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡の植栽管理のあり方について、ご意見も参考に、引き続き検討を行います。
公園の整備手法 (2)	ライフライン配管の先行埋設 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査後の埋め戻しの際に、埋め戻し地層の間にライフラインの配管を埋めておけば、後に有効活用できるのではないか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡におけるライフラインの配管整備については、既存の設備の更新も含め、関係機関と調整の上、計画をたてる予定です。 ・発掘調査の結果を踏まえ、計画をたてる必要もありますので、同時施工は難しいと思われませんが、効率的な事業実施に努めます。
	ユニバーサルデザイン化 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園全体について、ユニバーサルデザイン化をしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園として、移動等円滑化基準等を遵守した整備に順次取り組みます。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

V 公園全体に関するご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
公園内の移動手段 (1)	自動運転キャリアーの導入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 平城宮跡歴史公園は、非常に広大で、来訪者の移動手段が必要ではないか。特に、朱雀門から大極殿までの800mについて、自動運転できるキャリアーの運行を検討してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の移動手段については、現在検討を行っているところであり、イベント開催時などに社会実験等も実施しています。 安全かつ快適に公園内を移動していただけるように、ご意見も参考に、引き続き検討を行います。
写真撮影ポイントの整備 (1)		<ul style="list-style-type: none"> 広々とした歴史のあるすばらしい史跡なので、訪れた人が写真を撮影してインターネットなどにも掲載できるような人気スポットになってほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 訪れた方が写真を撮影したりできる、良好な視点場の設定を行い、平城宮跡らしい景観形成に努めます。
近鉄線の移設 (4)	移設促進 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄奈良線をいつまでにどのようなかたちで移設するのか。早く計画を公表してほしい。(2) 近鉄奈良線の移設ルートについて、一般から意見募集を行い、早急にルートを決めてはどうか。(1) 史跡内を通過する近鉄奈良線を大宮通りの地下か地上に移設してはどうか。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の基本計画では、平城宮跡内を横断する近鉄線については、遺跡の復原、景観の保全、来訪者の安全確保等の視点から、移設することが位置付けられており、将来的な移設の実現に向けて、奈良県を中心に、検討を進めているところです。しかし、地下遺構への影響や事業費、まちづくりとの連携など、多くの課題があることから、移設の最適な成案を得るには至っていない状況です。今後とも、これらの課題を踏まえつつ、幅広い視点から検討を進めてまいります。
公園へのアクセス (6)	歩行空間の改善 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 宮跡までの歩道は、幅が狭くて危ないところがあるので、もっと歩行者や自転車を考慮した構造にしてほしい。(1) 大和西大寺駅から朱雀門までのルートには、案内表示が全くなく、電車を降りてから安心して徒歩で行くことができるような表示の整備をしてほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 平城宮跡までの徒歩ルートについて、安全に来訪していただけるように、必要に応じて、今後検討を行います。 また、大和西大寺駅、新大宮駅から平城宮跡への徒歩ルートにおいて、順次案内サインを設置し、改善を図る計画です。
	近隣駅からのアクセス向上 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 拠点ゾーンの整備計画は、近隣の鉄道駅からのアクセスを含め、正面玄関として十分機能が発揮できるようなものにしてほしい。(1) 高齢者にとっては、徒歩では遠く、駅からのバス運行を多くしてほしい。(1) 観光客に便利なシャトルバスを大和西大寺駅、新大宮駅間で運行してほしい。平城宮跡の南や北を含んだ周回コースで、近隣の宿泊施設近くも含めて、停留所を設けて年中運行してほしい。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県では、奈良中心市街地の車両流入抑制の一環として、公共交通機関による来訪の促進など流入車両への対策に取り組んでいるところです。例えば、近鉄奈良駅やJR奈良駅と奈良公園、平城宮跡などの観光拠点を結ぶ周遊バス「ぐるっとバス」の運行を行い、アクセス向上にも努めているところです。 バスの運行ルートについても、「ぐるっとバス」の拡大など、ご意見を参考に、引き続き検討を行います。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

V 公園全体に関するご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※（ ）は、意見数	ご意見に対する考え方
公園へのアクセス (6)	バリアフリーバスの運行 (1)	・シャトルバスを運行する場合は、バリアフリーとしてノンステップバスを運行するなどアクセス手段をしっかりと考えてほしい。(1)	・事業者等と協議し、より多くの方に快適にご利用いただけるように努めてまいります。

平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント) 結果

VI その他のゾーンに関するご意見について

中区分	小区分	頂いたご意見の要旨 ※ () は、意見数	ご意見に対する考え方
シンボルゾーン (3)	大極殿前の舗装の撤去 (1)	・大極殿前の舗装を早く取り除いてほしい。テーマパークではなく、基本計画どおり、奈良時代を感じさせる道や広場をつくってほしい。地下水で守られている埋蔵文化財が壊されないように計画を練り直してほしい。(1)	・大極殿院で計画している建造物復原整備を含め、公園基本計画に基づき、整備を行っています。また、整備にあたっては、地下遺構の確実な保存を前提としています。
	植栽による整備 (1)	・樹木で往時の姿をイメージするような遺構表示などの整備を行ってほしい。(1)	・平城宮跡では、ご意見にあるような植栽での遺構表示なども行われているところです。それぞれのエリアごとに遺跡の展示手法を検討の上、整備を行っています。
	仮設物の撤去等 (1)	・大極殿院の修景柵や第一次朝堂院の舗装、朱雀門西北側の仮設駐車場の撤去をまずやるべきである。(1)	・修景柵は、大極殿院の建造物復原整備に合わせて、順次撤去する予定です。また、朱雀門北西側の仮設駐車場は、拠点ゾーンの交通ターミナル整備後に撤去し、原状復旧を行います。 ・第一次朝堂院については、往時の空間の広がり表現することを目指し、来訪者が自由に行き来できるよう整備を行います。
緑地ゾーン (1)	植樹の可否 (1)	・緑地ゾーンについて、宮跡内の植樹は許可されないのではないか。(1)	・平城宮跡内で植樹を行う場合は、地下遺構に配慮した樹種を選定する必要があり、また文化財保護法に基づく現状変更許可あるいは同意を得る必要があります。 ・緑地ゾーンで植樹を行う場合は、文化庁等の関係機関とも十分協議の上、必要な手続きのもとに行います。
県整備区域(東院庭園南側地区) (2)	整備計画 (2)	・東院庭園南側地区は、田園風景がすばらしい。ボウリング場跡地は、地産地消の市場、芸術村、展望タワーなどを設置してはどうか。(1) ・新大宮駅から法華寺、海龍王寺を経て、東院庭園から宮跡内を回り、大和西大寺駅へ至るルートとして、東側にエントランスを設置してほしい。(1)	・東院庭園南側地区は、将来、奈良県が公園整備する区域です。現時点では具体的な計画はありませんが、今後検討を行う際に参考とします。